

### 3. 地区計画策定の流れ

(1) 地区の課題や個性を点検します。

- 住民のみなさんが集まり、以下のことを話しあいます。

#### 【点検項目】

- ① 困っていること・解決したいこと(もの、場所も含みます)
- ② 大切にしたいこと・活かしたいこと(もの、場所、動き＝住民活動なども含みます。)

- 地区の地図を用意しますので、点検項目①を地図の上書き込んでいきます。これで、地区のどの場所にどんな課題や個性があるのかを住民みんなで分かち合います。
- 「計画立案シート」(巻末参照)の1、2、3にも記入していきます。

(2) 地区の課題を解決し、地域の暮らしをよくするために、必要と思うことを出し合います。

- 住民のみなさんで、地図の書き込みを見ながら、課題を解決するために必要と思われることを話しあいます。

#### 【検討項目】

- ① この考え方に変えていくことが必要／この考え方を守ることが必要  
例) 世帯の考え方(世帯主の考え方)でなく、一人ひとりの考え方を反映できる仕組みに変える
- ② この取り組みに力を入れていくことが必要  
例) 農産品を活かした販売向上に力を入れる  
地区の子育て支援に力をいれる

- ポストイットに思うことを書き出し、全員で台紙に貼り付けます。似た意見をグループとして集め、共通のタイトルをつけます。
- タイトルを「計画立案シート」(巻末参照)4に記入します。

(3) 具体的に取り組みたいアイデアを出します。

- 住民のみなさんが、地区点検の地図やシート(1、2、3、4の記入項目)を見直しながら、ポストイットに思うことを書き出し、全員で台紙に貼り付けます。似た意見をグループとして集め、共通のタイトルをつけます。
- この際、具体的な取り組みのアイデアを出していきます。数が多いほどよいので、良い考えかどうかにとらわれず、どんどん数を出していきます。

### 【検討項目】

- ① この地区の課題を解決し、暮らしよくする取り組み  
(取り組みに活かせるような地区個性・資源は?)
  - ② この地区の個性をさらに伸ばして暮らしよくする取り組み  
(取り組みに活かせるような地区個性・資源は?)
- グループのタイトルを「計画立案シート」(巻末参照)5にまとめます。

#### (4) 計画の柱を絞り込みます。

- 計画の柱は、長い期間にわたって、地区のまちづくりを進める上での基本的な方針になるものです。
- 具体的な取り組みは、実施することにより、終了しますが、計画の柱は、基本方針ですから、その達成のために、次の具体的な取り組みを再考する上でのより所になるものです。
- 住民のみなさんが、シート(4、5の記入項目)を見ながら、4の考え方と5のグループタイトルのなかで、もっとも重視したいことをもとに、計画の柱を考えます。
- 計画の柱は、だれにでもわかりやすいことばで「ひとこと」で表現することが秘訣です。  
例【食を守り、楽しむまちづくり】など

#### (5) 計画の目標

- 計画の目標は、地区計画に取り組むことで、最終的にどんな地区にしたいか?をあらわすものです。
- 住民みんなの願いをこめてつくりましょう。
- 例:みんなの和と輪で、笑顔あふれる地区づくり

**地区計画策定にかかる経費は、雲南市地域振興補助金が活用できます。**

〈例えば〉

- ・ アンケート調査の実施にかかる経費
- ・ 計画書の印刷代
- ・ アドバイザー経費
- ・ 計画策定にかかる会議費経費や事務費 など